

登録コード	TSY07500	開講年度	2026						
授業科目	建築史学特論					担当教員	梅干野 成央		
英文授業名	Advanced Architectural History					副担当			
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限			対象学生	修士1年生
講義室	工C3-202教室			授業形態	講義	備考			
信大コンピテンシー	該当								
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ								
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	歴史的建造物の価値をふまえた保護の方法について、体系的に考えることができるようになる。		
(2)授業の概要	日本の建築文化（古代・中世・近世・近代）を体系的に理解する。こうした理解を前提とし、社寺、住まい、近代の建築に即して、歴史的建造物の価値を読み取るための考え方を学び、建築史に即して伝統文化の理解を深める。また、歴史的建造物の価値をふまえた保護（保存・活用）の考え方を学び、伝統文化を継承するための方法に関する理解を深める。								
(3)授業計画	第1回（04/15） はじめにー日本の建築文化に関する概説 第2回（04/22） 日本の建築文化ー古代 第3回（04/30） 日本の建築文化ー中世 第4回（05/13） 日本の建築文化ー近世 第5回（05/20） 日本の建築文化ー近代 第6回（05/27） 歴史的建造物の価値を読み取るー神社 第7回（06/03） 歴史的建造物の価値を読み取るー寺院 第8回（06/10） 歴史的建造物の価値を読み取るー農家 第9回（06/17） 歴史的建造物の価値を読み取るー町家 第10回（06/24） 歴史的建造物の価値を読み取るー近代洋風建築 第11回（07/01） 歴史的建造物の価値を読み取るー近代和風建築 第12回（07/08） 歴史的建造物の価値を読み取るー近代化遺産 第13回（07/15） 歴史的建造物の価値を読み取るー近現代建造物 第14回（07/22） 歴史的建造物の保護（保存・活用）ー保存 第15回（07/29） 歴史的建造物の保護（保存・活用）ー活用、授業アンケート								
(4)成績評価の方法	中間レポート（20点満点）と期末レポート（80点満点）により評価する。基本的内容を理解したと認められる者（レポートの合計60点以上の成績）について単位を認定する。								
(5)成績評価の基準	（1）歴史的建造物の保護について理解していれば「水準にある」。（2）この基礎的知識を事例にもとづいて理解していれば「やや上にある」。（3）歴史的建造物の価値を読み取り方を理解していれば「かなり上にある」。（4）以上をふまえ、歴史的建造物の価値と保護のあり方を体系的に理解していれば「卓越している」。								
(6)事前事後学習の内容	前週のレジュメやノートを使って、毎回復習してから授業に臨むこと。								
(7)履修上の注意	公開されている歴史的建造物を積極的に見学すること。見学の際には、スケッチや写真をとり、歴史的建造物の特徴などを現場で学ぶこと。								
(8)質問,相談への対応	質問・相談にはいつでも応じる。メールでも可（hoyano@shinshu-u.ac.jp）。								
(9)その他									
【教科書】	日本建築学会編：日本建築史図集 新訂第三版, 彰国社, 2011年								
【参考書】	指定しない								